

# こぶしの風

まひ



こぶし会  
ロゴマーク

第45号

(題字: ユアサポートぽっぽ 上沼真美さん)

発刊: 令和5年8月20日 発行: 社会福祉法人信濃こぶし会 編集: 広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1 電話(0265)35-8511 FAX(0265)35-9016 E-mail:kobushi@dia.janis.or.jp URL http://kobushikai.or.jp/

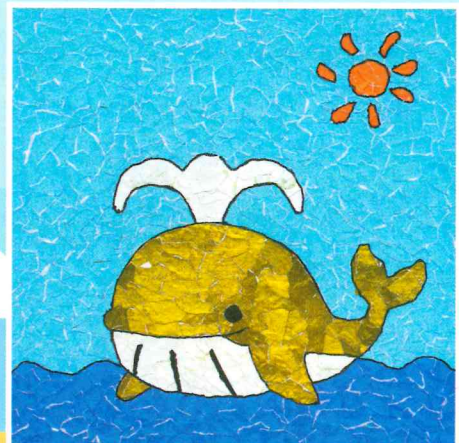
## ガス電車出発進行〜!



### 目次

理事長あいさつ.....	2P
理事監事改選.....	2P
人事異動.....	2P
令和4年度 事業・決算状況.....	3P
職員の素顔.....	4P
職員の動き・編集後記.....	4P

作/グループホーム  
山田雅章さん



作品  
「クジラ見てみたいな!」

==== 安心して暮らせる地域をつくるために ====



# 令和4年度はハード面の整備を充実 理事長 高本隆光



令和4年度は、今後の法人運営を遂行していくうえで大変意味深い一年となりました。事業拡大となります新グループホームの建設に加え、障害児通所支援事業所「パドルダッククラブ」の不動産購入の設備投資を行いました。当法人での七つ目となります新ホームは、ホーム入居の皆様から「自分に合った住環境で同居の皆さんとの良い関係を保ちながら、毎日を穏やかに暮らしていきたい」というご要望にお応えできるよう、新規建設にあわせホームの再編を行うこととしました。新ホームは「個」の空間を大切にしつつ、みんなが集えるリビングを中央に配置した間取りとしました。住環境は一定の整備が整いましたので、今後は我が家のごとく穏やかで快適な生活を送っていただけるよう、支援の質の向上に引き続き努めて参ります。

また、パドルダッククラブは現在の所に開設以来、12年ほどになります。この間、大家さんをはじめ近隣の皆様からの多大なるご理解をいただき、福祉事業を行ってこれることができました。この度の不動産購入を契機とし、利用者さんやご家族にとりまして更なる利便性の高い事業所になりますよう、施設改修に繋げていきたいと思っております。

令和4年度は、いわゆるハード面の整備に尽力した年でしたが、ソフト面の充実も必須です。利用者さん、職員双方の「暮らしやすさ」「働きやすさ」の理想に応えるべく、次への一步を進めていきたいと考えています。



新ホーム『だんきゅう』

## 法人役員新体制決まる

理事 任期2年：令和5.6.20～令和7.6月定時評議員会終結まで

役職名	氏名	選出	歴任
理事長	高本隆光	法人管理者	再任
理事	片桐秀人	前理事長	再任
	酒井浩文	NPO法人理事	再任
	小島康晴	元県議会議員	新任
	大澤孝則	保護者会	新任
	小木曾優介	法人管理者	再任

監事 任期2年：令和5.6.20～令和7.6月定時評議員会終結まで

役職名	氏名	選出	歴任
監事	大原文男	有識者	再任
	稲葉勇	有識者	再任

評議員 交代により残任期間 令和7.6月定時評議員会終結まで

役職名	氏名	選出	歴任
評議員	田中邦夫	喬木地区	新任

## 人事異動のお知らせです

- ▶4月1日付人事異動の中で管理者の変更届を県に提出した結果、県の指摘によりグループホームの管理者を変更。
  - ・グループホーム管理者  
高本 隆光 → 久保田富子に変更
  - ・グループホーム管理者補佐  
久保田富子 → 高本 隆光に変更
- ▶6月20日付 退職者の補充対応に伴う人事異動
  - ・こぶし園 事務員 山口 睦 (本部 事務員)
  - ・ヘルパーステーション小川 事務員 藤澤 紀子 (こぶし園 事務員)
- ▶6月30日付退職
  - ・ヘルパーステーション小川 事務員 田中 美幸
- ▶8月1日付 グループホーム「だんきゅう」開所に伴う人事異動

### 【主任】

- ・さんらいず喬木 西澤 則子 (さんらいず喬木世話人)
- ・いちょう 平地 信子 (パワーすぽっと世話人)
- ・だんきゅう 三島ふみえ (パワーすぽっと世話人)

### 【世話人】

- ・ゆうハウスこぶし 久保田利恵 (いちょう主任)
- ・さんらいず喬木 木下裕美子 (さんらいず主任)
- ・さんらいず喬木 大内 春子 (小川ハイツ世話人)
- ・いちょう 小原 好枝 (さんらいず世話人)
- ・だんきゅう 小石峯初子 (ゆうハウスこぶし世話人)

## 表紙の説明

グースの最近のブームは、チューブのおもちゃを沢山繋げての電車ごっこです。大きな輪っこを作って、運転手さんを決めて、グース電車出発進行～!

「お乗りの方はいませんか?」「次はトランポリン駅～トランポリン駅～♪」みんなで楽しく遊んでま～す♪





## 令和4年度 事業・決算状況

令和4年度は、これまでにないコロナの影響を受ける年となりました。特に7~8月、11~12月は一部の事業所で利用者・職員共に感染者が確認されたことで、検査キットの在庫数は減る一方となり途方に暮れていたところ、県と村から急速検査キット等を提供していただき、このおかげで事業所の閉鎖及び事業の縮小は行ったものの、感染は最小限に食い止めることができ、県と村には心から感謝です。

こうした状況下で、決算収入は前年度を若干上回ることができ、一方の支出は前年より600万円程増え、収支としては、前年比で580万円余の減収とはなりましたが、運営的には、コロナの影響はまだまだ少なかったと思われます。

また、令和4年度の大きな事業としては、まずは念願のグループホーム「だんきゅう」の建設です。建設事業費は5,100万円円で定員5名の平屋建が3月末に完成しました。作業は10月にスタートしましたが、完成までの間コロナはもとよりロシアのウクライナ侵攻の影響もあり、価格の高騰、人手不足、建設材料が間に合うか等々心配は山積でしたが、お陰に予定通り完成することができました。



緑に囲まれた『パドルダッククラブ』

もう一つ、障害児通所支援事業所「パドルダッククラブ」の賃貸物件を購入することでした。庭付きの一般住宅を借りて支援を行ってききましたが、3月に土地建物を1,200万円で購入し、より一層の支援に努めていきたいと考えています。この他こぶし園と第二こぶし園の園庭舗装、こぶし園一部の床張替、こぶし園の作業室等にエアコンを5台設置するなど環境面に配慮した事業を実施するなど、令和4年度はハード面を充実させた年となりました。

## 事業活動計算書

社会福祉法人 信濃こぶし会

自 令和4年4月1日 ~ 至 令和5年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		当年度決算	前年度決算	増 減	
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	14,597,693	14,901,575	△ 303,882
		障害福祉サービス等事業収益	367,334,724	366,700,238	634,486
		経常経費寄附金収益	100,000	0	100,000
		収 益 計 (1)	382,032,417	381,601,813	430,604
	費 用	人件費	276,055,959	274,679,005	1,376,954
		事業費	32,590,415	30,921,310	1,669,105
		事務費	25,592,752	25,524,011	68,741
		就労支援事業費用	14,504,923	13,951,279	553,644
		減価償却費	36,021,965	33,961,008	2,060,957
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 13,525,563	△ 14,028,728	503,165
費 用 計 (2)		371,240,451	365,007,885	6,232,566	
増減差額 (3) = (1) - (2)		10,791,966	16,593,928	△ 5,801,962	
サービス活動外増減の部	収 益	受取利息配当金収益	5,828	8,157	△ 2,329
		その他のサービス活動外収益	6,076,282	5,110,307	965,975
		収 益 計 (4)	6,082,110	5,118,464	963,646
	費 用	その他のサービス活動外費用	1,989,871	1,939,905	49,966
		費 用 計 (5)	1,989,871	1,939,905	49,966
増減差額 (6) = (4) - (5)		4,092,239	3,178,559	913,680	
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		14,884,205	19,772,487	△ 4,888,282	
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益	0	2,120,000	△ 2,120,000
		施設整備等寄附金収益	0	0	0
		収 益 計 (8)	0	2,120,000	△ 2,120,000
	費 用	固定資産売却損・処分損	9	4	5
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	2,120,000	△ 2,120,000
		費 用 計 (9)	9	2,120,004	△ 2,119,995
増減差額 (10) = (8) - (9)		△ 9	△ 4	△ 5	
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		14,884,196	19,772,483	△ 4,888,287	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		556,975,284	542,202,827	14,772,457
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)		571,859,480	561,975,310	9,884,170
	基本金取崩額 (14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)		0	0	0
	その他の積立金積立額 (16)		26	5,000,026	△ 5,000,000
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)		571,859,454	556,975,284	14,884,170



# 職員の素顔

## アイビス 田口結衣 (支援員)



パドルダッククラブの支援員としてお誘いいただき、お世話になってもうすぐ2年になります。

最初は支援員としてお役に立てるようになるにはどうしたらいいか、子どもたちが楽しく過ごすにはどうしたらいいか悩みましたが、子どもたちと過ごす時間が楽しく、色々な経験をしていく中で少しずつ成長できたのではないかと思います。

そんな不安な中でもスタッフの皆さんは優しくサポートやアドバイスをくださり、子どもたちも一緒に遊びたいと言ってきて心が温まりました。もっと自信を持って、これからも子どもたちが楽しめる環境をスタッフの皆さんと作り上げていきたいなと思います。

## 第二こぶし園 小平未央 (生活支援員)

長女が保育園に上がることをきっかけに働き始め、その娘も今年4年生！ということで、第二こぶし園へ来て今年で7年目になります。その間に2回の産休育休をいただき、今年4月から再度復帰しました。



私の趣味は、甘いコーヒーを飲みながら、本を読んだり、手芸など細かいことをしたり、家でまったりすることが好きですが、今は子ども3人が中心の生活で、なかなか自分の時間が取れずにいます。その代わりに、週末は公園へ出掛けたり、お弁当を持ってドライブに出掛けたりと少しアクティブな日々を過ごしています。また今年も、放置気味で草だらけの庭に少し芝生を貼りました。庭でプール遊びや、暑い時期が過ぎたら、子どもと一緒に庭いじりをしたり砂場を作る計画を立てているところです。

## グループホーム 河合和枝 (サービス管理責任者兼相談支援専門員)



4月よりパドルダッククラブからグループホーム・相談支援専門員の兼務となりました。これまで、事業所が同じ喬木村にありながらホームの事は全く知らず、力不足の点ばかりですが、各ホームの一日の流れを理解して、利用者さんや世話人の皆さんの支えとなれるようコミュニケーションを重ねていきたいと思っています。

相談支援では、パドルダックのように児童関係と違い、年齢層が広くなり、老若男女と様々な場面で多様な調整が必要なことを改めて学んでいるところです。数々の計画相談を立てる中で、これまで携わってきた児童関係との共通点や自立した生活への準備など参考になる部分を活かしながら、制度の理解も深めていきたいと思っています。

また、利用者さん、家族の皆さんの思いを大切に双方とって安心できる着地点を一緒に考えていけたらと思っています。

私自身の在宅介護での経験もお伝えしながら、皆さんに寄り添っていききたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

# 職員の動き

## ユアサポートぽっぽ 新井智仁 (生活支援員)

昨年4月よりユアサポートぽっぽで生活支援員としてお世話になっています。ぽっぽの前は、第二こぶし園で2年半同じく生活支援員として支援にあたって来ました。ぽっぽは2年目になりますが、どちらも生活介護の事業所とは言え、それぞれに特徴があり覚える事も多く、他の職員の方に教えて頂いたり、時には、利用者さんに聞いたりしながらの毎日です。1日も早く覚える事は覚え、通常業務に追われる日々を脱却し、余裕を持って、楽しく支援していけるように頑張っていこうと思っています。よろしくお願ひします。



（ユアサポートぽっぽ 新井智仁）

## 編集 後記

ここ何年かで流行ってきている筋トレ。私も健康のために筋トレをやってきました。今年に入ってからボディメイクに興味を持ち、私も始めることにし、来年の大会に向けて、日々、筋トレに励んでいます。新しく始めることも多く、不安なことばかりでしたが、今では夢中になって身体づくりをしています。何かに夢中になれることは楽しいことですね。（グループホーム 小池美奈子）